



11月23日 広島市文化交流館。南部合唱団は後半、22団体目の演奏。指揮・鶴岡 恵さん、ピアノ・中瀬 千央さん

「樹があるかぎり」は、20数年前に詩人小森香子さん（「青い空は」で有名ですね）に作品を委嘱し、団員である小島啓

11月23、25日に開かれた「日本のうたごえ合唱交流会 in 広島」に東京代表としてエントリーしてきました。その中の一般の部B（26名以上の舞台）で入賞しました。

この2曲を全国の仲間へ届けられる事はうれし

「原爆」は、原曲はみなさんご存じでしょうし、新しい編曲はこの2年、団の音楽会で披露している曲です。

個人レッスンを受けています。来年もよろしくお願ひし

私達の演奏が終わった後すぐに会場に戻りました。残り少なかったのですが例年上に入賞常連の団体の演奏を聴く為です。

音楽会、前項大会前の団内個人発表会で延べ人数17名の出演があり、発表会を始めて以来最大でした。個人レッスンを受け兼ねる中で、他人の前で一人で責任を持って歌

う力が徐々にについて生きている結果ではないでしょうか。これが団の質の向上として現れたと思われ

芸術局長
加山 明美

銅賞入賞
うれしい!

なんぶ

<発行>
南部合唱団
連絡先：〒214-0022
川崎市多摩区堰
1-22-1-416
TEL:044-833-6220

介が作曲し、新星日本フィルの創設者でピオラ奏者の故赤堀文雄氏の編曲による作品です。

11に決まりました。皆と選曲を考えています。

私はコンクールが終わると、これが次への一歩と常に思っています。個人レッスンを受け、団内発表会を更に充実させましょう。毎週の練習も個人レッスンを受けているときと同じ気持ちで、又レッスンを受けた経験を活かしましょう。もともと聴いて下さる方々の心に届く歌が歌えるようになる為に。

個人レッスンの
成果が現れた!

アルト 本間 紀子